



けやきだより

No. 28

発行者: 社会福祉法人みらい

社会就労センター けやき 〒507-0827 多治見市平和町6丁目364番地
 TEL 0572-22-1011 FAX 0572-22-0911
 E-mail keyaki@violin.ocn.ne.jp URL http://www.mirai-tajimi.or.jp/
 社会就労センター 第2けやき 〒507-0827 多治見市平和町5丁目28番地
 TEL 0572-26-8600 FAX 0572-26-8605
 社会就労センター 第3けやき 〒507-0827 多治見市平和町7丁目23番地
 TEL 0572-26-9902 FAX 0572-26-9925
 けやきカレッジ 〒507-0065 多治見市根本町3丁目90番地
 TEL 0572-26-8646 FAX 0572-26-8975
 サポートセンター Uライフ 〒507-0058 多治見市平井町4丁目73番地
 TEL 0572-29-1520 FAX 0572-26-8588
 相談支援センター リンク 〒507-0058 多治見市平井町4丁目73番地
 TEL 0572-26-9205 FAX 0572-26-9263
 生活支援センター CSポート 〒507-0827 多治見市平和町7丁目49番地
 TEL, FAX 0572-26-8804

共同生活援助(グループホーム) 「ぶなホーム1,2,3」「にれホーム1,2」「ならホーム」「とちの木ホーム」

最近の障がい福祉

(社福) みらい理事長 柴田勇夫

最近の障がい福祉の状況は、法律が目まぐるしく変わる中、平成三十年四月の総合支援法の見直しと報酬改定が予定されていますが、これがかかり業界にとつて厳しい状況になるのではと危惧されています。

私どもの法人では「けやき可児」の建設も始まり(詳細は別記)、利用者の増、職員の増に伴い組織の再編を実施し、平成二十九年四月に新体制での運営を計画実行します。

また、最近職員さんに若い女性も多く、今年度は三名の方が産休で休まれるということもあり、安倍政権の「ニッポン一億総活躍プラン」のメニューにある「企業主導型保育事業」の助成金を受け、「けやき保育園」をこれも同じく二十九年四月オープンで建設します。

当法人の事業の運営とは別に、皆さんも驚愕され、「ホントにこんなことが起こるの」と思われた事件が発生しました。

七月二十六日に神奈川県相模原市の「津久井やまゆり園」で、知的

障がいのある方十九名の方の命が奪われるという、痛ましい事件が起こったことは記憶に新しいと思います。この事件は、障がいのある方・その保護者・福祉に携わる人たちだけでなく、社会全体に大きな衝撃を与えました。

容疑者が元施設職員であつたと、働いていた時に「重度の障がい者は生きていく価値はない」との発言もあつたとのことで、この職員の解雇後の施設側の危機管理・情報管理に大きな問題があつたとの、県の検証委員会の答申が出ました。

しかし危機・情報管理はさておき、この世に「いなくていい人」なんているはずがありません。

世の中に未だに障がい者への差別・偏見があり、こんな意見に賛同を示すブログがあり、今日にあつても人の命に優劣を付ける、いわゆる「優生思想」ともとれる考え方があつたのではと危惧しています。

我々が行っている施設運営には利用者の命と尊厳を守る責任と、利用者との成長を促し・見守るといふ使命があります。この「責任」と「使命」をもう一度心に刻み、障がいのある方の人権の尊重を世の中に発信していかねばならないと思っています。

◆「けやき可児開設へ向けて」◆

平成29年4月、可児市広見に新しい事業所「けやき可児」を開設することとなりました。以前より可児市方面に住んでみえる方達から、可児市内にも事業所を作って欲しいという強い要望をいただいております。そこで2年ほど前より可児市役所と協議をしながら計画を進めて参りましたが、今年に入りようやく国庫補助金の内示が下り、4月の事業開始を目指して現在は建築工事と各準備を進めております。

「けやき可児」では就労移行支援事業と就労継続支援B型の2つの事業を実施予定で、現在けやきで行っているようなクリーニングや調理、下請け作業、施設外作業などを行っていくこととなります。また1番の目玉として、施設内に喫茶店を作ります。利用者の方にはそこで接客のお仕事をもらうことで、就労に向けた練習と同時に近隣住民の方との交流の場にしたいと考えております。また事業所内では同時に相談支援事業も行う予定で、「けやき可児」を利用する方のサービス等利用計画を作成したり、地域の相談に

対応することでの地域貢献も行っていきます。

法人みらいでは、これまでグループホーム等を含むすべての事業所を多治見市内に作ってきました。少しずつ事業を拡大していくことで、地域の方達の理解も深まり、いろいろな仕事をいただくことができるようになったり、祭りにたくさんの方に来ていただいたりするようになってきました。可児市内においても、「どんな障がいがあっても地域の中で生活する」という法人理念のもといろいろな事業を行っていくことで、地域の方達との共生社会を目指していきたいと思えます。

「けやき可児」の概要は次のとおりです。

住所：可児市広見661-2

定員：初年度25名（5年後45名予定）

職員：初年度10名程度

事業種類：就労移行支援、就労継続支援B型

作業内容：喫茶店、調理、クリーニング、下請け作業、施設外作業（清掃など）

第1事業部長 柴田健吾



けやき可児イメージ図

岐阜県障がい者スポーツ大会秋大会に参加しました！

秋晴れの10月16日(日)。毎年恒例のスポーツ大会秋大会が岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催されました。

けやきをはじめ法人全体から4つの事業所、総勢34名の利用者の方々が参加をされ、フライングディスクや陸上競技に汗を流してきました。

毎年、秋大会は夏の暑さが残るのか、秋の涼しさが漂うのか予想が難しいですが今年は皆さんの気持ちがあたたかくなっていました。暑い「1日となりました。」



暑かったけど良い天気でした！

いずれの競技も毎年続けて参加される方が多く、行きの中からは「今回は一位を目指します。」「記録を伸ばします。」「バトンパスの練習がもつとしたい。」などの会話が聞かれて意気込みが感じられました。

開会式を終え、それぞれのフィールドでそれぞれの目標に向かって挑戦開始です。フライングディスクは輪になっていく的にディスクを入れる数を競うアキュラシーと距離を競うディスクスタンスの2種目です。熱中症に注意をしながら進めていきました。



的に入りますように…

陸上は50メートル走と100メートル走を年齢別で走り、400メートルリレーは組み合わせや走る順番を考えてベストな状態で臨みました。



メダルが取れるように全力疾走！！

毎回参加されている方々は年齢別の枠が年々「少年」から「青年」「壮年」へと変化していくことで時の流れを感じる一方、皆さんの変わらないエネルギーに見習うべきものがあると思えました。

いずれの競技も日頃交流のない事業所の皆さんが付かず離れずの距離で和やかに過ごされていたり、リレーでは協力し合っている場面を見て、なんだかとても温かいものも感じました。

また競技の合間にはバザーも覗い

て買い物も楽しみました。けやきからはクッキーや縫製品が販売されており、その点でも皆さんの気持ち盛り上がったようです
岐路の車中、満足そうな表情でうとうとしている利用者の方々を見て、皆さんの目標が達成されたことがわかりました。

第3けやき 戸松 尚美



リレーはみんなが応援してくれました！



第12回けやき祭り開催！

平成28年10月29日(土)

平成28年10月29日(土)に昭和小学校の体育館をお借りして、第12回けやき祭りを開催しました。前日は大雨で準備が大変でしたが、当日はすつきりとした秋晴れとなり、昨年同様もしくはそれ以上のたくさんの方にお越しいただきました。



たくさんのお客様の前で練習の成果を披露しました！

開会式では理事長の挨拶、来賓紹介が行われ、続いて「みらいの音楽隊」による開会宣言で祭りが始まりました。祭りが始まると同時に各模

擬店での販売も始まりました。今年もけやきで作ったクッキーや保護者の焼きそばをはじめとした飲食物や縫製品、フリーマーケット、お子様も楽しめるような射的や魚釣りなど様々な模擬店を用意しました。飲食物に関しては、昨年午前中に売り切れてしまう物があつたため、昨年より多めに用意してより多くのお客様に満足して頂けるようにしました。



パン食い競走は今年も大好評！

ステージ発表は例年通り歌やダンスなどで祭り全体の雰囲気盛り上げてもらいました。そこに加えて今年には多治見西高校箏曲部の方々に琴の演奏を行っていただき、すこし落ち着きのある、ゆったりとしたこれまでとは違うステージを演出していただきました。



琴の演奏で癒されました…

また、昨年に引き続き保護者会によるパン食い競走も行われ、お子様や利用者さんなど楽しく参加してい

ました。最後は元氣イーズの皆さんがダンスを披露し、途中からは利用者さんと一緒に踊って大盛り上がりの中に第12回のけやき祭りはフィナーレを迎えました。

今回も、けやき祭りを行うに当たって利用者さんからテーマを募集しました。昨年の「けやきパワー」でもてなし」に代わって今年は「みんな笑顔でまんまるスマイル」というテーマで行いました。

ハロウィンが近いということもあり、利用者さんや職員が仮装をして接客をしました。自分たちも楽しみながら、その雰囲気をお客様にも伝えながら笑顔で接することができたのではないかと思います。

最後になりましたが、当日ご協力をいただいた関係機関の皆様、また来場していただいたすべての方に対し、実行委員を代表して御礼申し上げます。ありがとうございます。

けやき祭り実行委員 山本 功太



カレッジブースでは作業体験を行いました

利用者さんの仕事②



受付でお客様にチケット販売をしました

利用者さんの仕事①



ステージの司会進行をしました

利用者さんの仕事④



アンケート回収の仕事をしました

利用者さんの仕事③



保護者会フリーマーケットを手伝いました！

利用者さんの仕事⑥



自分たちで作った縫製品を販売しました！

利用者さんの仕事⑤



自分たちもお祭りを楽しみました！



ステージ出演者の方に誘われて一緒にダンス！

けやき保護者会のページ

第49回手をつなぐ育成会東海北陸大会に参加して

中島 千恵子

★大会スローガン★
「だれもがあたりまえに普通に暮らせる共生社会へ」

10月15日(土)～16日(日)に高山市民文化会館で第49回手をつなぐ育成会東海北陸大会が開催されました。家族3人で15日の分科会に参加しました。

主人は第4分科会「はたらく・くらす」に参加し、「生きていくなかでの仕事とは」、「どこでどのように暮らすのか」のテーマに沿って議論が行われました。

子どもは本人部会「みんなで楽しむ！」で、社会福祉協議会の方と音楽療法士の指導のもとで初めての場所、けやきの仲間以外は知らない人達ばかりということでも最初は不安がっていましたが、親とも離れられ

和太鼓演奏を聞き、「風になりたい」を歌い、マラカスを作ったり全員でダンスをしたりと楽しい時間を過ごせたようです。



本人部会の様子

私は第7分科会「こうれい」に参加しました。

基調講演として、全国手をつなぐ育成会連合会統括の田中正博さんから、介護保険サービスと総合支援法自立支援給付との関係性についての話がありました。

内容としては、いつまでも元気に生活するためには、支援を受けながら地域での生活を続けるために高齢

化に備えた準備、「親あるあいだ」にできる準備をしておきましょうということでした。

次に提言者として、名古屋手をつなぐ育成会評議員の永田尚子さんから、高齢になっても地域でその人らしく暮らすというテーマで、25歳になるダウン症の娘さんのお話を具体的なエピソードを交え話されました。

22歳でグループホームに入居。実家住まいから何年もかけてグループホームへと緩やかに移行していくのが理想的とした上で、地域で暮らし続けるためには3つの輪、①権利擁護、②相談支援、③地域資源が必要であるが、地域で子どもが暮らし続けるためのチーム作りは一朝一夕にはできず、親が元気で子どももまだ活動期のうちから、中長期的なケアマネジメントの仕組みを支援者と共に考える必要があるということでした。

また、提言者の静岡県伊東市手をつなぐ育成会会長の山本真由美さんからは、老々および老障介護を1対1で行っていくのは心身ともに大変

なこと。介護者のリフレッシュのためにショートステイ、短期入所を使いたくてもいつでも必ず利用できるとは限らない。高齢者の方と、障害のある方々がお世話しお世話されつつ、共に生活できるような施設・居場所がたくさんできてきて欲しい、と話されました。

高山山ゆり園施設長の船洞勝義さんからは、施設の現状として利用者の平均年齢が56.8歳、最高齢者は77歳だということ、65歳以上の利用者が平成28年度は15名で全利用者の内の30%であるが、10年後には32名の64%にまでなり、高齢化が課題であることを具体的な数字を用いて説明して頂きました。

以上、障害のある方が65歳を迎え障害福祉サービスから介護保険へ移行する、いわゆる65歳問題に対しての関心の高さと切実さを感じる「こうれい」分科会でした。永田さんが言われた「人財」、山本さんの言われた「人作り」が響き、私も、思いをあらたにした良い学びの場でした。ありがとうございました。

みんなの作文コーナー

けやきに入って

けやき 三居 えり子

けやきに入って、しごとのきゅうけいするじかんがみんなとおんなじになりました。立ちしごとが一日できるようになりました。

ホロホロクッキーのぶんかつまるめではやく5グラムにはかれるようになりました。

これからもやすまないで一日立ちしごとをがんばっていきたいです。友達となりきりであそんだり、しようせつをつくるのが好きです。おもにドリウムしようせつで、友達にアドバイスをもらってそれをかいていっています。

就職が決まって

けやきカレッジ 今井 光

この度、私はGUへの就職が決まりました。GUへの就職を目指すにあたりまず履歴書を書くことにな

り、気合いを込めて書き失敗しては何度もやり直し、その甲斐あってか実習へ行かせていただくことになりました。

実習はとても緊張しましたが、皆さん良い方ばかりで気さくに話しかけて下さいました。主な仕事内容は開店前の店舗内の清掃とバックヤードでのハンギング、私は特に鏡ふきが難しかったのですが、仕事を教えてくださる方々がどうすればやりやすくなるか考えて下さり何だか恐縮でした。

無事実習を終え面接の日を迎えました。面接も緊張しましたが、しっかり受け答えができました。

就職が決まったといってもまだまだこれからだと思うので、仕事を続けていけるように頑張りたいと思います。

新人職員の紹介

今年度の7月1日より、けやきで働く事になりました岩本茂利(い

わもとしげとし)と申します。兼ねてより相談支援事業所リンクさんにお世話になっていたことが数回あり、そこからのご縁によりこの度入社することとなりました。

私事ですが、姉が知的障害を持っており、小さい頃から障害の方々と関わることも多かったのですが、昔は今のようには障害者施設の数も多くなく、社会の理解もあまりなかったことから、差別や暴言など私達家族一同色々な弊害を受けてきました。

その頃からそういう辛い思いを受けられないようにしたい、いつか姉のような人々の手助けがしたいと、心の奥底に思っておりました。

そんな中、偶然にもけやきに入る機会があり、今回入社に至った次第です。しかし、まだまだ経験も浅く、自分が未熟故に、職場の方々をはじめまわりの方々にも迷惑をかけてばかりで申し訳ない思いの中、色々四苦八苦をしながら毎日を送っています。

そんな私ですが日々精進し、皆様により良い支援をしていければ

と励んでまいりますので、宜しく
お願い致します。



縫製班を担当しています。



けやきへご寄付等戴いた方たちのご紹介 (28年11月現在、順不同)

※敬称は省略させていただきます

寄附金等を戴いた方

(有)丸元コンフォート	(株)セキュリティハウス	(株)ウィンテック
(株)熊谷設計	(株)吉川組	根本外科医院
美濃包材(株)	11 区区長加藤宏明	けやき保護者会
谷敏		

物品のご寄付を戴いた方

お名前	寄附内容	お名前	寄附内容
佐々木陶器(株)	ジュース	水野森本法律事務所	お茶
(株)ドラゴンゲート	プロレス観戦チケット	廣瀬恒雄	野菜
多治見少年少女合唱団	コンサートチケット	渡辺孝昭	洗濯機
※縫製用品・中古ジーンズ等 平和中学校、笠原中学校、北栄小学校、小泉小学校、 昭和 小学校、根本小学校、笠原小学校			

ボランティア活動を戴いた方

元気ィーズ	MAIYA	NPO 法人ママズカフェ	飛燕一多治見
多治見西高校箏曲部	平和中学校吹奏楽クラブ	林冬美	水野加代
大嶽肇	笠瀬美里	藤井麻衣	倉田舞奈

編集後記

冒頭でも少し触れておりましたが、29年度に「けやき可児」をオープンすると同時に、平井町にあるUIFの敷地内に企業主導型保育所である「けやき保育園」をスタートさせる予定です。

企業主導型保育所とは、いわゆる「会社がつくる保育園」です。企業のニーズに応じた保育所の柔軟な設置・運営を助成する制度で、平成28年度から始まったばかりの新しい事業です。

法人みらいは職員の7割以上が女性です。女性が働きやすい職場づくりの一環で、保育所の整備は以前から検討していました。企業主導型保育所は認可外保育施設とはなりますが、国から保育所の運営費、整備費の助成金が出ます。

この事業を活用し、女性職員の出産、育児後の職場復帰を容易にできるような保育所づくりを目指していきます。この保育所は任意で他の企業や地域のお子さんを受け入れることも可能です。平井町付近に保育所が不足していることもあり、地域のよりどころになればとも思っております。